

経営比較分析表（令和5年度決算）

佐賀県 伊万里市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	42.96	0.07	100.00	3,480

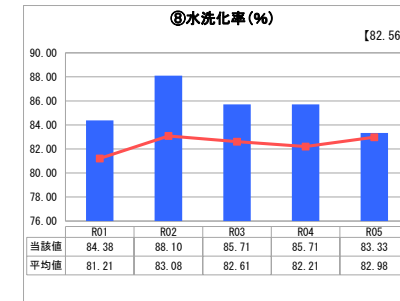
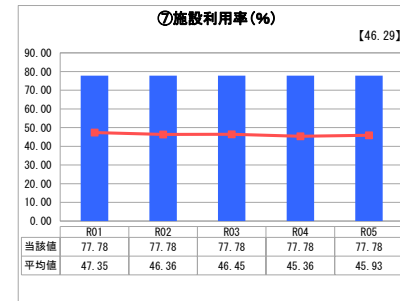
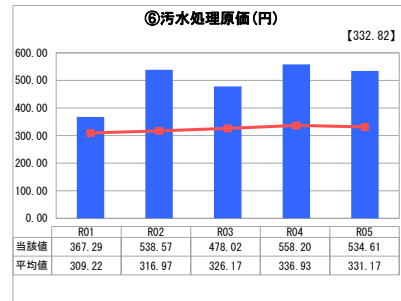
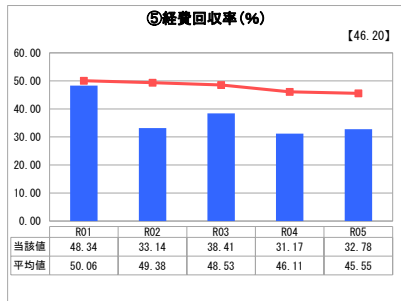
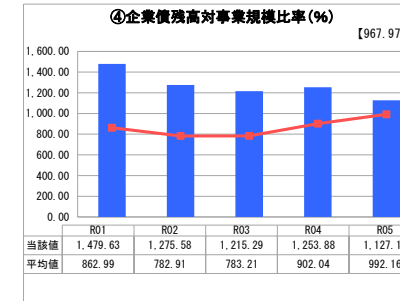
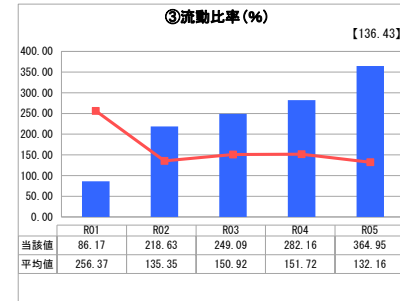
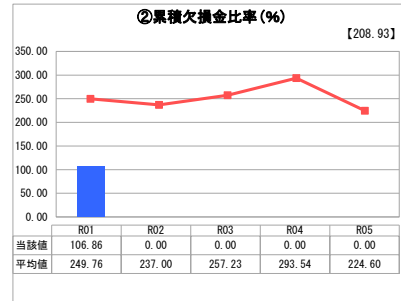
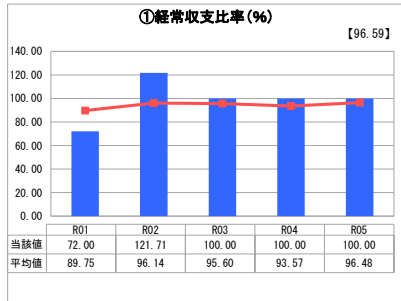
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
52,279	255.26	204.81
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
36	0.93	38.71

グラフ凡例

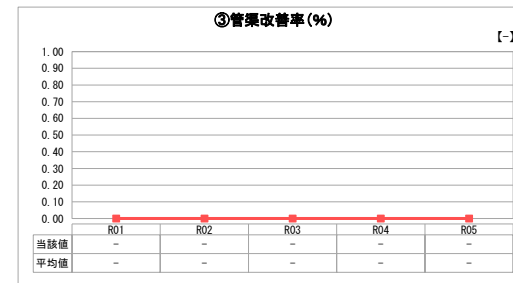
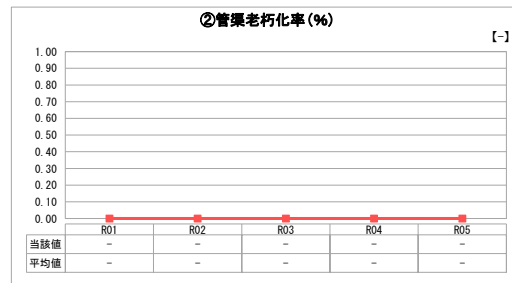
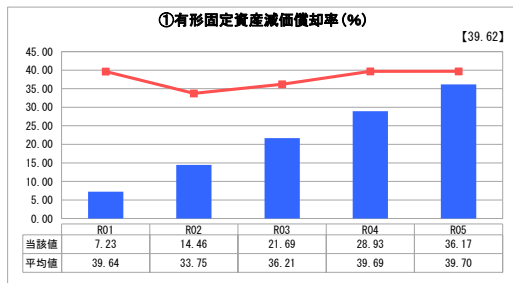
- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）

【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、令和2年度以降は100%を維持できている。
- ② 累積欠損金比率は、令和2年度以降ゼロを保っている。
- ③ 流動比率は、年々増加しており、令和2年度以降は平均値を上回っている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、減少傾向にあるが、一貫して平均値を上回っている。
- ⑤ 経費回収率は、一貫して平均値を下回っている。
- ⑥ 汚水処理原価は、一貫して平均値を上回っている。
- ⑦ 施設利用率は、70%台を保っており、一貫して平均値を上回っている。
- ⑧ 水洗化率は、年度により増減はあるものの80%台を維持している。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、老朽化の進行により年々増加しているが、平均値を下回っている。
- ② 管渠老朽化率は、法定耐用年数（50年）を経過している管渠はない。
- ③ 管渠改善率は、老朽管がないため更新等は行っていない。

全体総括

本市の個別排水処理事業は、農業集落排水事業区域内の一部の世帯に利用が限られているため普及率の上昇が見込めない。加えて、供用開始から約20年以上経過しているため機器等の修繕費が増加していることに加え、利用世帯では単身者が多く有収水量の増加も見込みにくい。使用料の増収が見込めず、費用削減も限界の状況にあることから、さらに厳しい経営状況になることが想定されるため、公共下水道事業と農業集落排水事業の経営状況を見ながら、使用料の見直しについても検討する必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。